

2024・12

# 柏の景気情報

令和6（2024）年12月の調査結果



柏商工会議所

The kashiwa Chamber Of Commerce and Industry

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所

〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18

TEL : 04-7162-3305

FAX : 04-7162-3323

URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>

E-mail : [info@kashiwa-cci.or.jp](mailto:info@kashiwa-cci.or.jp)

# 柏の景気情報 (令和6年12月の調査結果のポイント)

## ★調査結果のまとめ

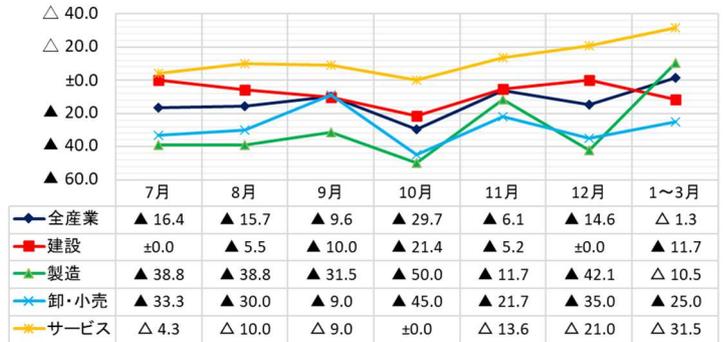
回答期間：令和6年12月19日～令和7年1月7日 調査対象：柏市内173業所及び組合にヒアリング、回答数75

各業種の業況はまだら模様。物価・コスト費用の上昇継続により収益環境は依然厳しい状況。

12月の全産業合計の業況DI値（前年同月比ベース、以下同じ）は、▲14.6（前月水準▲6.1）となりマイナス幅が8.5ポイント拡大した。

来年度を見据える中、継続している原材料費等の価格上昇への不安の声は未だ多く寄せられる。卸・小売業の一部では年末イベント・セールによる効果で売上がやや好調とのコメントが有。一方、サービス業では、金利上昇や天候に左右され顧客の減少が見受けられる。同様に、建設業でも設備投資意欲の低下による買い控えや就業時間短縮による工期の長期化で利益に繋がりがづらい状況。

柏の景気情報・産業別業況DI



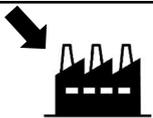
## ★業種別の動向

前月と比べたDI値の動き 改善 横ばい 悪化



建設業

「毎年暮れには従業員に餅代として寸志を渡すが、借入れをして支払うような形になり資金繰りはますますマイナスになっている。又、日が暮れるのが早いために現場で仕事をする時間が大幅に減っているために仕事ははかどらず、利益を生むところまで行かないのが現実」（とび）「仕入単価は上昇が止まらない状況。少しずつ上がっている模様。一方顧客の設備投資意欲は昨年より縮小している見える」（空調（エアコン）設備工事）



製造業

「人材確保の為に、来年度から有休休暇日数を増やしたり、育休や介護休暇制度など、総労働時間が大きく現象する一方で、原材料費やエネルギー価格の上昇など、コストアップ要因が多い中で、賃金のアップをしていかなければならないのは、大変厳しい状況にある」（自動車・同附属品製造）「年末年始は操業日が低く、ユーザーも大型連休に入り生産及び収益は下振れ。ただ、懸念している状況よりは、状況が上向きになっている。デジタル化の推進で年末調整事務等の簡素化実施」（その他の鉄鋼）



卸・小売

「月間を通じ好天が多く、人流・入店は堅調に推移。セール分散傾向も有り、全体をとしてはやや低調もカジュアル衣料は前年を堅持。食物販は値上げ影響で点数減も単価上昇で前年同レベルの売上を確保。クリスマス需要は今年の1.4倍と大きく伸長」（百貨店）「食品に限らず原料の高騰がここまで続くと販売価格への転嫁だけではこの先の営業活動を継続していくのが難しいと感じた1年だった」（食品卸売）「8月～10月は厳しい月度で大きく落ち込んだが、11月12月は連続して好調。しかし、8月～10月のマイナスを全て返せるレベルには至っていないので、年間ベースでは厳しい状況。業績が好転するにつけて人手不足が出だした」（大型小売店）



サービス業

「金利が上がっている為、購入客が減少している。人件費、商材の値上がりで建築費、仕入れ価格が上昇している。購入客も動きが悪い。全体的にインフレがジワーと来ているようだ」（不動産管理）「良くも悪くも天候次第。寒さが緩めば今冬の売上は昨対を上回る見通し。但し、売上が上がっても仕入や光熱費などの経費が上がり続けており採算は悪化の見通し。シニア層のお客様が今年の夏から減少して来ていることが気になり」（ゴルフ練習場）「業況としてはインフラ整備や維持管理関連での堅調な動きが続くと予想していますが、物価上昇傾向に伴う材料費等によるコスト高への不安も出てきている。また、小規模事業者にとってはインボイス制度の影響も真剣に取り組む必要があると感じる。」（地質調査・地質コンサルタント）

## ★全国の商工会議所早期景気観測調査（CCI-LOBO）との比較

全産業合計では、「柏の景気」が▲14.6に対し、「CCI-LOBO」が▲14.4で、柏のほうがマイナス幅が0.2ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、サービス業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・製造業・卸小売業である。

# 今月の柏の景気天気図

柏の景気情報と全国CCI - LOBOとの比較

景気天気図					
	特に好調 DI ≥ 50	好調 50 > DI ≥ 25	まあまあ 25 > DI ≥ 0	不振 0 > DI ≥ ▲25	極めて不振 ▲25 > DI
<b>業況DI</b>	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 14.6	 ± 0.0	 ▲ 42.1	 ▲ 35.0	 21.0
CCI-LOBO	 ▲ 14.4	 ▲ 11.3	 ▲ 21.4	 ▲ 20.2	 ▲ 3.4
<b>売上DI</b>	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 13.3	 ▲ 29.4	 ▲ 31.5	 ▲ 20.0	 26.3
CCI-LOBO	 ▲ 0.4	 ▲ 9.4	 ▲ 6.6	 ▲ 3.4	 11.6
<b>採算DI</b>	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 12.0	 ▲ 17.6	 ▲ 31.5	 ▲ 25.0	 26.3
CCI-LOBO	 ▲ 14.7	 ▲ 12.9	 ▲ 19.6	 ▲ 20.5	 ▲ 9.2
<b>仕入単価DI</b>	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 62.6	 ▲ 47.0	 ▲ 57.8	 ▲ 75.0	 ▲ 68.4
CCI-LOBO	 ▲ 66.1	 ▲ 68.7	 ▲ 61.9	 ▲ 71.8	 ▲ 63.0
<b>従業員DI</b>	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 25.3	 41.1	 10.5	 5.0	 47.3
CCI-LOBO	 22.2	 38.9	 9.6	 19.7	 29.2
<b>資金繰りDI</b>	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ± 0.0	 5.8	 ▲ 5.2	 ▲ 10.0	 10.5
CCI-LOBO	 ▲ 10.0	 ▲ 6.9	 ▲ 12.4	 ▲ 15.3	 ▲ 6.8

# CCI-LOBO

## 商工会議所早期景気観測(12月速報)

調査期間：2024年12月12日～18日

調査対象：全国の326商工会議所が2,455企業にヒアリング調査を実施

### 全国の業況

業況DIは、年末需要の下支えにより、改善

先行きは、さらなるコスト増の懸念から厳しい見方

12月の全産業合計の業況DIは、▲14.4と前月比からプラス1.9ポイント。

サービス業は、忘年会需要の恩恵を受ける飲食店や、インバウンド・国内観光需要が堅調な宿泊業を中心に改善した。小売業は、消費動向の二極化が継続する中、年末需要が旺盛な百貨店が全体をけん引し改善した。卸売業は農畜産水産物関係や機械器具関係の引き合い増加で改善し、建設業も公共工事の下支えで改善した。一方、製造業は、自動車関係の伸び悩み等で力強さを欠き、悪化となった。

円安其調が続く中、原材料価格や電気代の高騰などによるコスト増が続いている。

また、深刻な人手不足や労務費を含めた価格転嫁の遅れ等も足かせとなっている。根強い経営課題は山積しているものの、年末需要の下支えを受け、中小企業の業況は、改善となった。

先行き見通しDIは、▲17.1と今月比からマイナス2.7ポイント

高い賃上げに伴い冬の賞与が増加する中、年始の初売りや次年度に向けた準備等、個人消費拡大への動きがみられる。また、決定した経済対策への期待の声も聞かれている。

一方、価格転嫁による賃上げ・設備投資等に向けた原資確保、人手不足による機会損失など、対応課題は多い。また、物価上昇の中、燃料油価格激変緩和補助金の縮小等に伴うコスト増が懸念され、先行きは厳しい見方となった。

【建設業】  
「大型の案件を受注でき、ようやく業況が好転する兆

しが出てきている。一方で、深刻な人手不足や需要の停滞により、先行きは不透明感が強く、賃上げや設備投資等を躊躇している」(大工工事業)

「深刻な人手不足により外注への依存度が高くなっており、利益率を圧迫している」(舗装工事業)

### 【製造業】

「原材料価格の高騰が続き収益を圧迫する中で、人手不足への対応・賃上げが引き続きの課題である。原資の確保に向けて価格転嫁を行いたいのが、消費者の節約志向が高いつ中、市場価格を見定めて検討しない」と売上悪化にもつながるため、頭を悩ませている」(パン・菓子製造業)

「業界全体で需要が落ち込んでおり、顧客の在庫調整に終わりが見えず、発注が少ない」(金属加工機械器具製造業)

【卸売業】  
「モノの流通量は大きく変化していないが、実質賃金が増えない状態が続いたこと

で消費者の節約志向が高まっており、低価格帯の商品に需要が移っている。取り扱う商品の単価が下がっているため、売上が上がらない」(繊維品卸売業)

「月初に一時的に円高方向に進んだことで、仕入価格が抑えられた。価格転嫁も進み、業績は好転している」(化学製品卸売業)

### 【小売業】

「年末需要はあるものの、実質賃金は伸び悩んでおり、飲食料品や日用品は、低価格帯に需要がシフトしている。経済対策等の効果による年明けからの持ち直しに期待している」(百貨店)

「自治体のキャッシュレス決済還元事業の影響で売上が増加した。引き続き自治体による消費喚起策を期待する」(日用品小売業)

【サービス業】  
「忘年会需要が増加する中、電気代の高騰や従業員の賃上げ原資確保に向けて宴会料金の値上げを実施した。顧客の理解も得られ、もう少し値上げを

してもよいとの声も一部からいただいているが、一気に値上げをすることによる顧客離れを危惧して、躊躇してしまっている」(飲食店)

「コスト上昇分を価格転嫁していたところに政府の燃料油価格激変緩和補助金の縮小が加わり、さらに料金改定を進めないといけない状態である」(運送業)

### 全国・産業別業況DIの推移

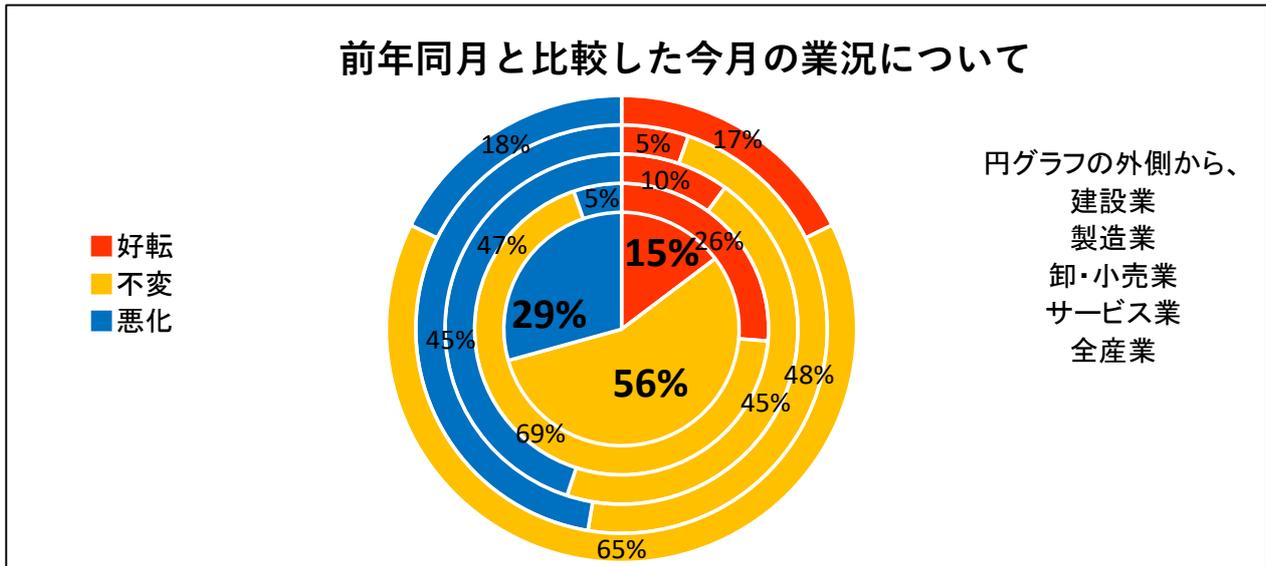
「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
7月	▲16.3	▲13.1	▲22.8	▲24.0	▲20.8	▲5.4
8月	▲15.4	▲11.6	▲24.4	▲19.9	▲18.4	▲5.2
9月	▲14.1	▲8.4	▲23.4	▲16.1	▲18.7	▲4.3
10月	▲17.2	▲11.8	▲22.0	▲26.1	▲24.1	▲6.9
11月	▲16.3	▲12.6	▲20.4	▲19.0	▲23.2	▲8.5
12月	▲14.4	▲11.3	▲21.4	▲17.5	▲20.2	▲3.4
見通し	▲17.1	▲12.2	▲19.2	▲22.8	▲20.7	▲12.6

# 令和6年（2024年）12月の動向

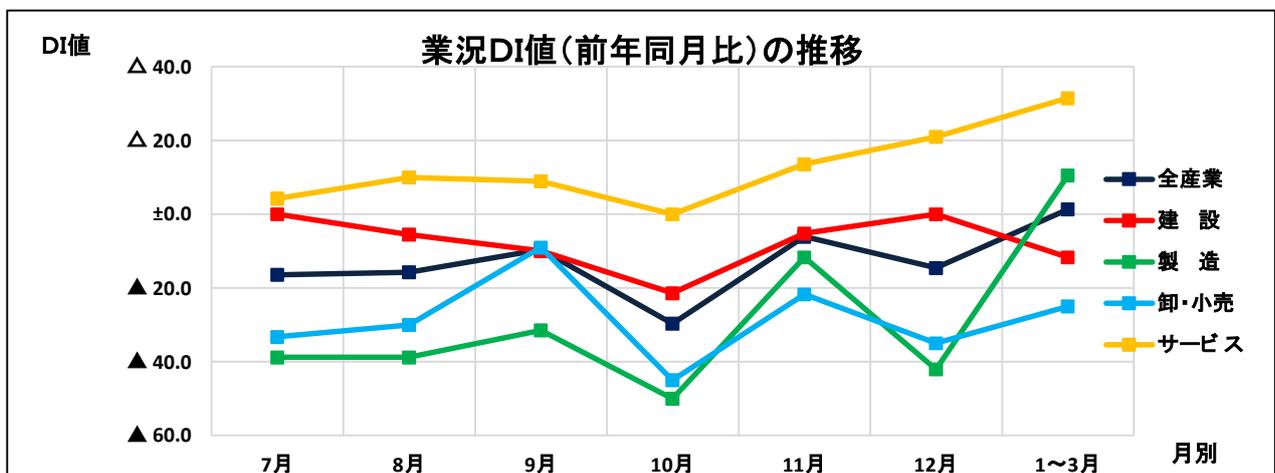
## 【業況について】

- 12月の全産業合計のDI値（前年同月比ベース、以下同じ）は、▲14.6（前月水準▲6.1）となり、マイナス幅が8.5ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月（1月から3月）の先行き見通しについては、全産業では、△1.3（前月水準△0.0）となり、プラス幅が1.3ポイント拡大した。



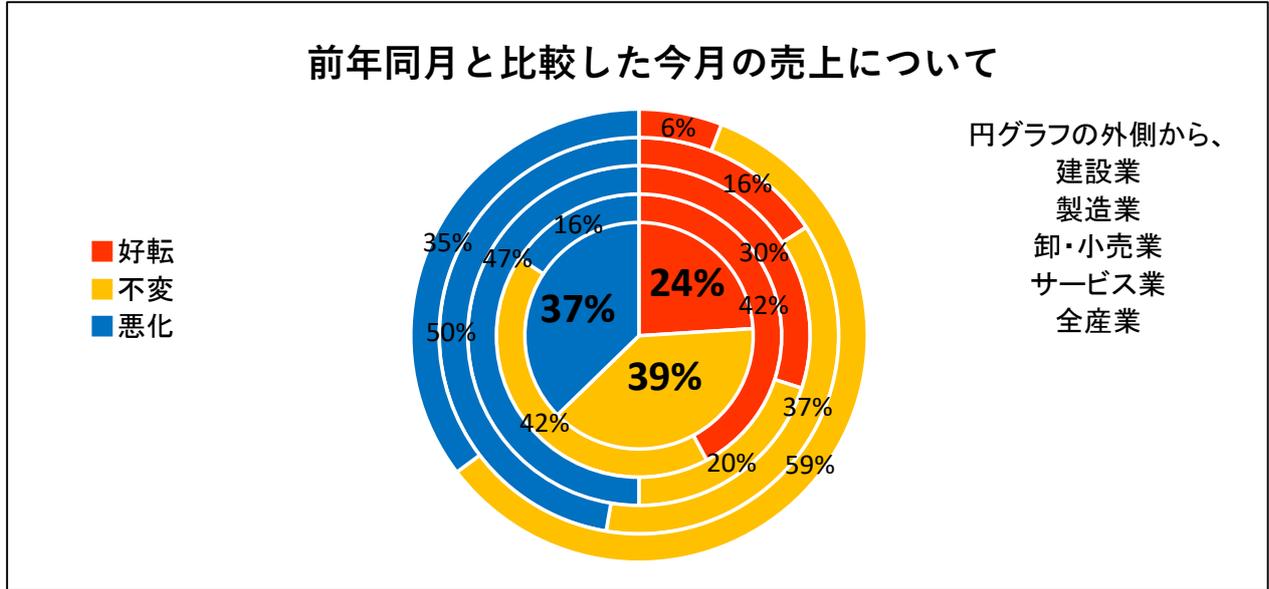
業況DI値（前年同月比）の推移 ※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

	令和6年						先行き見通し
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~3月（12~2月）
全産業	▲16.4	▲15.7	▲9.6	▲29.7	▲6.1	▲14.6	△1.3（±0.0）
建設	±0.0	▲5.5	▲10.0	▲21.4	▲5.2	±0.0	▲11.7（△10.5）
製造	▲38.8	▲38.8	▲31.5	▲50.0	▲11.7	▲42.1	△10.5（▲11.7）
卸・小売	▲33.3	▲30.0	▲9.0	▲45.0	▲21.7	▲35.0	▲25.0（▲13.0）
サービス	△4.3	△10.0	△9.0	±0.0	△13.6	△21.0	△31.5（△13.6）



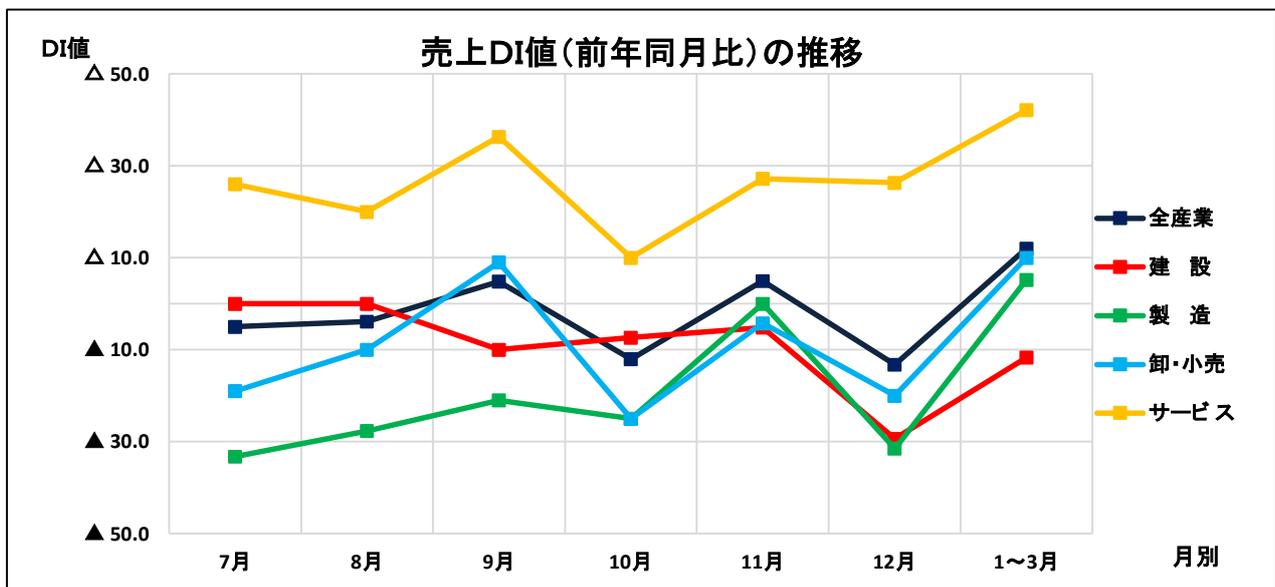
【売上について】

- 12月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲13.3(前月水準△4.9)となり、マイナス幅18.2ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月(1月から3月)の先行き見通しについては、全産業では、△12.0(前月水準△7.4)となり、プラス幅が4.6ポイント拡大した。



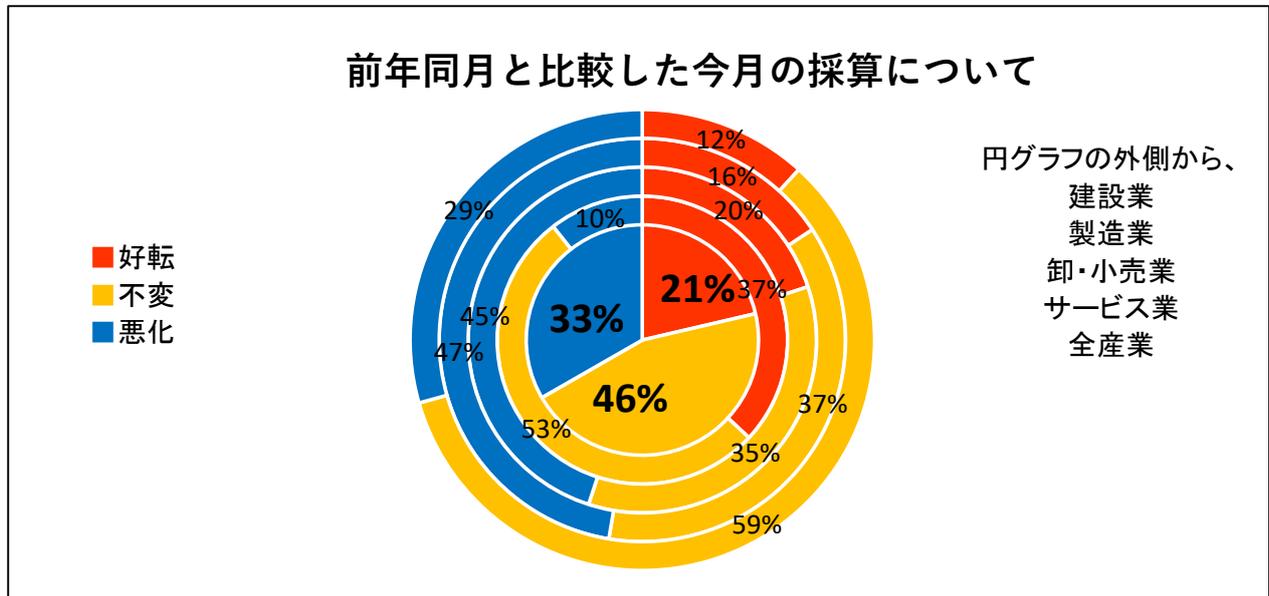
売上DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「増加」の回答割合-「減少」の回答割合

	令和6年						先行き見通し
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~3月 (12~2月)
全産業	▲5.0	▲3.9	△4.8	▲12.1	△4.9	▲13.3	△12.0 ( △7.4 )
建設	±0.0	±0.0	▲10.0	▲7.4	▲5.2	▲29.4	▲11.7 ( △21.0 )
製造	▲33.3	▲27.7	▲21.0	▲25.0	±0.0	▲31.5	△5.2 ( ▲5.8 )
卸・小売	▲19.0	▲10.0	△9.0	▲25.0	▲4.3	▲20.0	△10.0 ( ±0.0 )
サービス	△26.0	△20.0	△36.3	△10.0	△27.2	△26.3	△42.1 ( △13.6 )



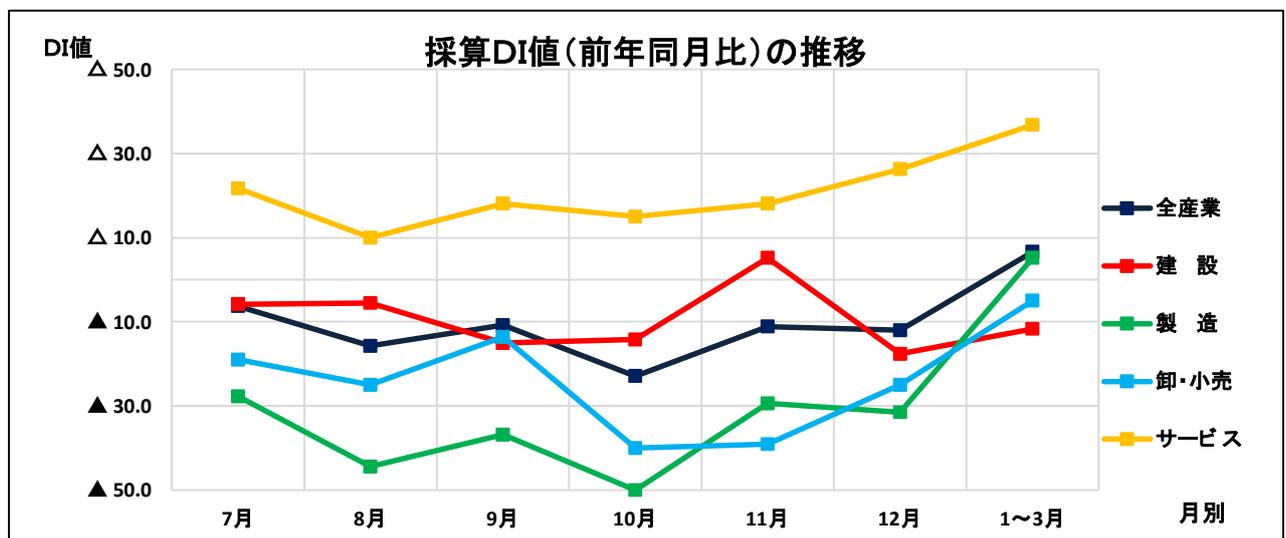
【採算について】

- 12月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲12.0(前月水準▲11.1)となり、マイナス幅が0.9ポイント拡大した。
- 向こう3ヶ月(1月から3月)の先行き見通しについては、全産業では、△6.6(前月水準▲1.2)であり、マイナス幅が7.8ポイント縮小する見通しである。



採算DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

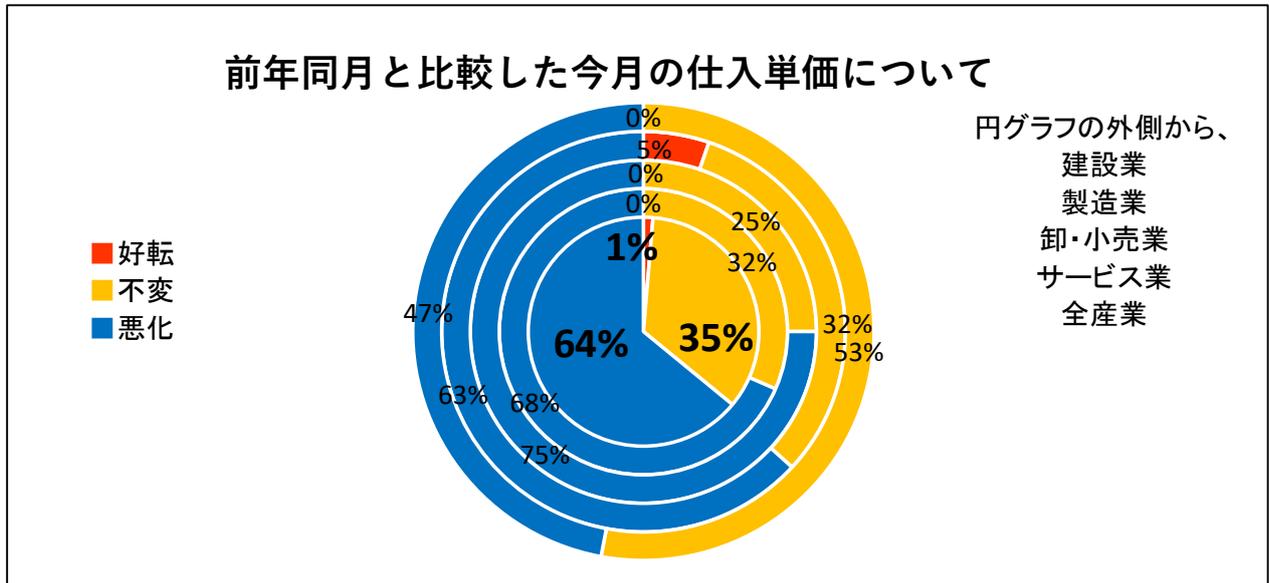
	令和6年						先行き見通し	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~3月 (12~2月)	
全産業	▲6.3	▲15.7	▲10.8	▲22.9	▲11.1	▲12.0	△6.6 (▲1.2)	
建設	▲5.8	▲5.5	▲15.0	▲14.2	△5.2	▲17.6	▲11.7 (△10.5)	
製造	▲27.7	▲44.4	▲36.8	▲50.0	▲29.4	▲31.5	△5.2 (▲11.7)	
卸・小売	▲19.0	▲25.0	▲13.6	▲40.0	▲39.1	▲25.0	▲5.0 (▲13.0)	
サービス	△21.7	△10.0	△18.1	△15.0	△18.1	△26.3	△36.8 (△9.0)	



【仕入単価について】

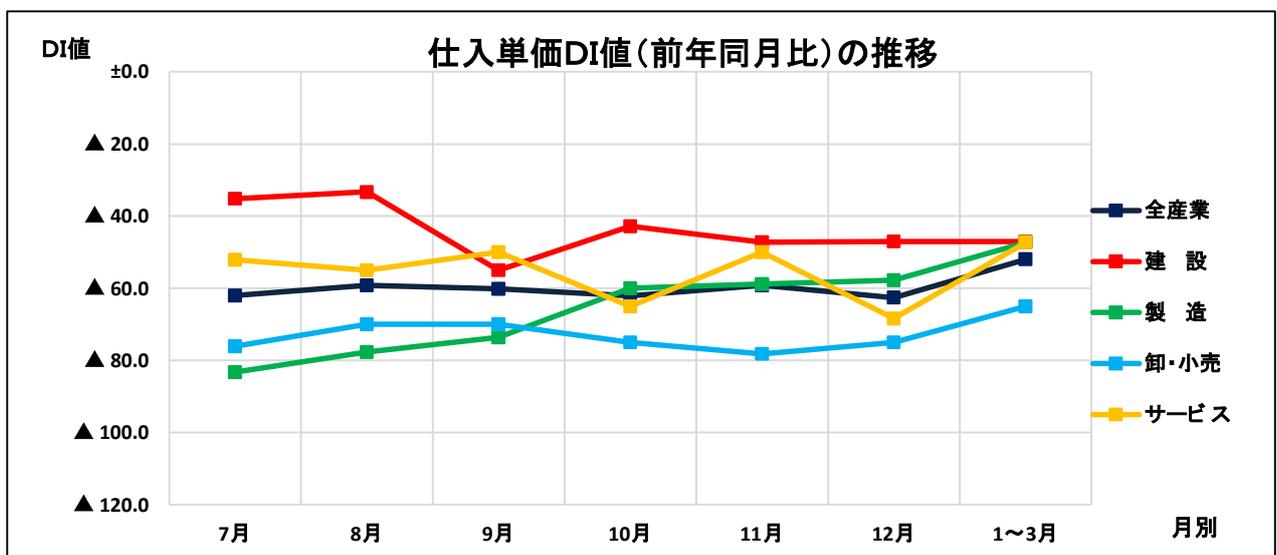
○ 12月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲62.6(前月水準▲59.2)となり、マイナス幅が3.4ポイント拡大した。

○ 向こう3ヶ月(1月から3月)の先行き見通しについては、全産業では、▲52.0(前月水準▲48.1)となり、マイナス幅が3.9ポイント拡大する見通しである。



仕入単価DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「下落」の回答割合-「上昇」の回答割合

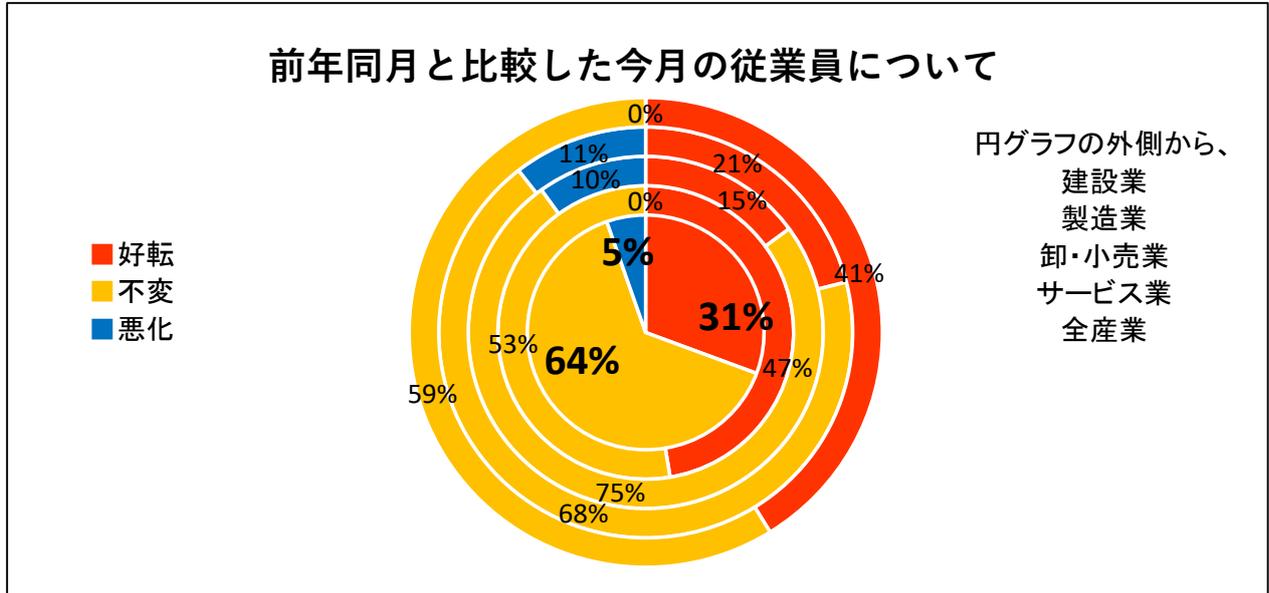
	令和6年						先行き見通し
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~3月 (12~2月)
全産業	▲62.0	▲59.2	▲60.2	▲62.1	▲59.2	▲62.6	▲52.0 (▲48.1)
建設	▲35.2	▲33.3	▲55.0	▲42.8	▲47.3	▲47.0	▲47.0 (▲31.5)
製造	▲83.3	▲77.7	▲73.6	▲60.0	▲58.8	▲57.8	▲47.3 (▲41.1)
卸・小売	▲76.1	▲70.0	▲70.0	▲75.0	▲78.2	▲75.0	▲65.0 (▲65.2)
サービス	▲52.1	▲55.0	▲50.0	▲65.0	▲50.0	▲68.4	▲47.3 (▲50.0)



【従業員について】

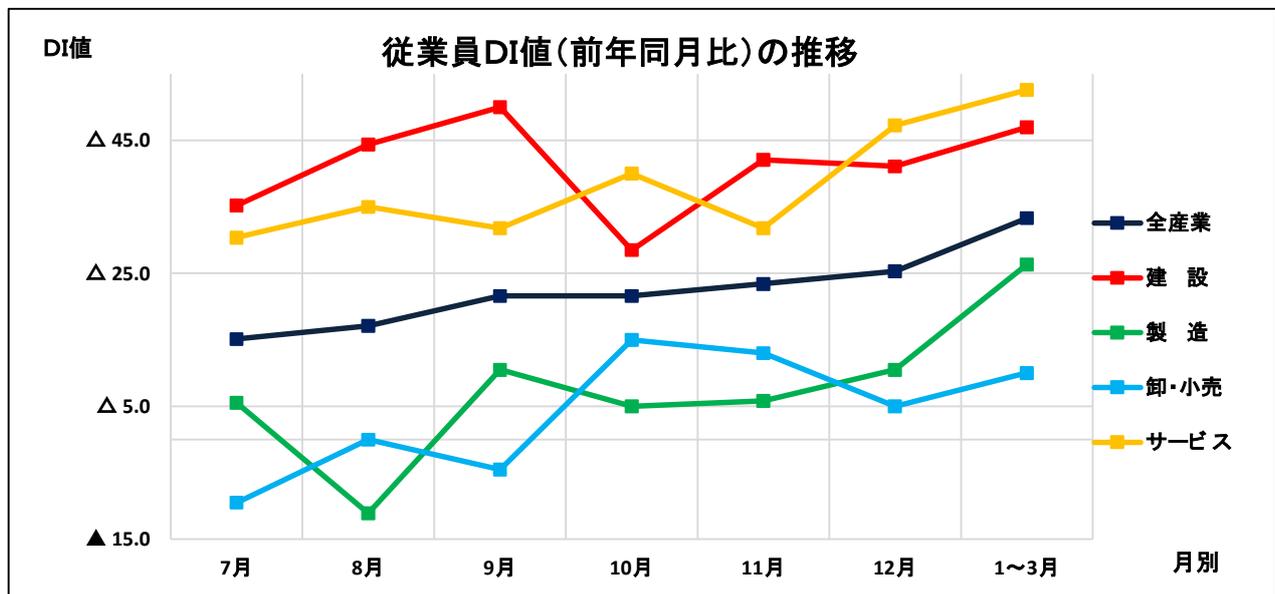
○ 12月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△25.3(前月水準△23.4)となり、プラス幅が1.9ポイント拡大した。

○ 向こう3ヶ月(1月から3月)の先行き見通しについては、全産業では、△33.3(前月水準△32.0)となり、プラス幅が1.3ポイント拡大する見通しである。



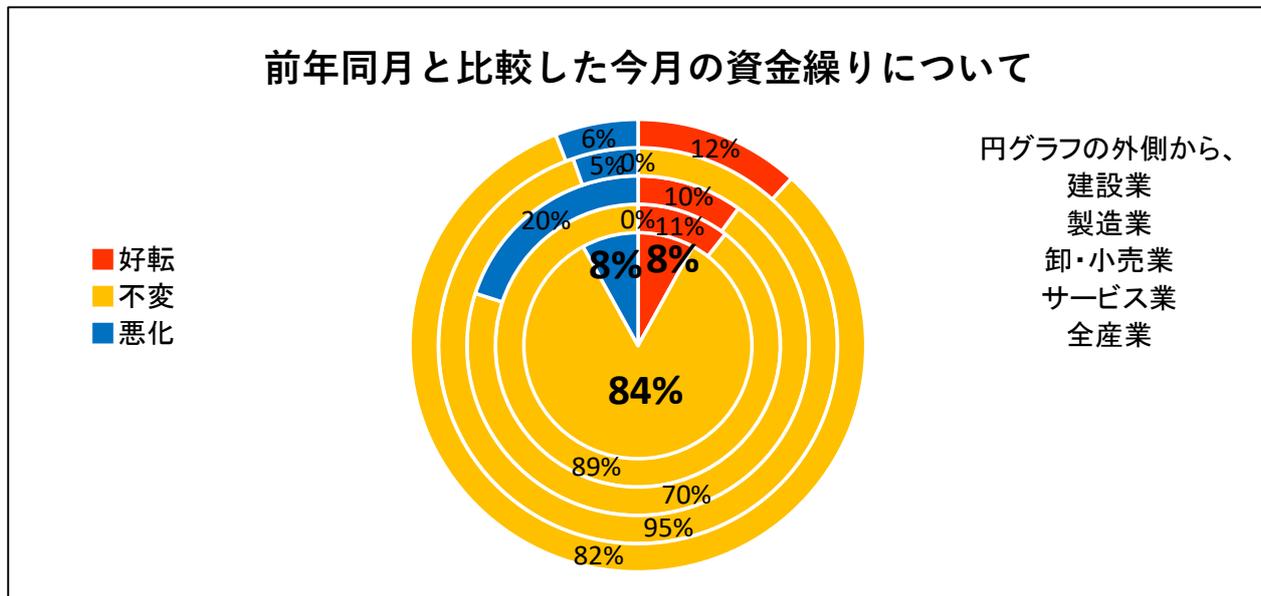
従業員DI値(前年同月比)の推移 ※DI=「過剰」の回答割合-「不足」の回答割合

	令和6年						先行き見通し
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~3月 (12~2月)
全産業	△ 15.1	△ 17.1	△ 21.6	△ 21.6	△ 23.4	△ 25.3	△ 33.3 ( △ 32.0 )
建設	△ 35.2	△ 44.4	△ 50.0	△ 28.5	△ 42.1	△ 41.1	△ 47.0 ( △ 52.6 )
製造	△ 5.5	▲ 11.1	△ 10.5	△ 5.0	△ 5.8	△ 10.5	△ 26.3 ( △ 11.7 )
卸・小売	▲ 9.5	±0.0	▲ 4.5	△ 15.0	△ 13.0	△ 5.0	△ 10.0 ( △ 21.7 )
サービス	△ 30.4	△ 35.0	△ 31.8	△ 40.0	△ 31.8	△ 47.3	△ 52.6 ( △ 40.9 )



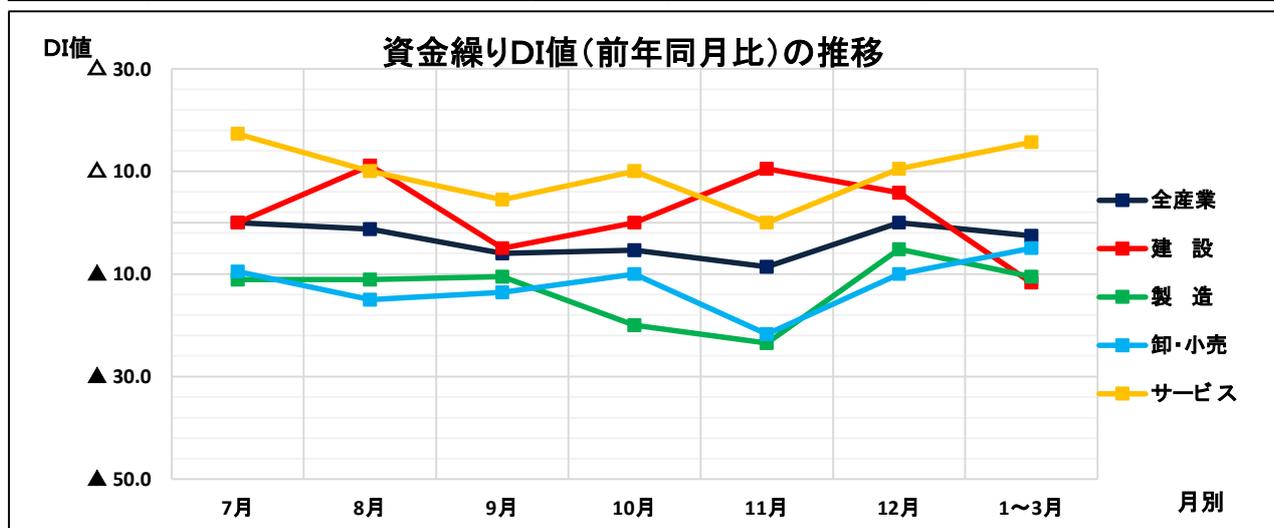
【資金繰りについて】

- 12月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△0.0(前月水準▲8.6)となり、マイナス幅が8.6ポイント縮小した。
- 向こう3ヶ月(1月から3月)の先行き見通しについては、全産業では、▲2.6(前月水準▲2.7)となり、マイナス幅が0.1ポイント縮小する見通しである。



資金繰りDI値(前年同月比)の推移 ※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

	令和6年						先行き見通し
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~3月 (12~2月)
全産業	±0.0	▲1.3	▲6.0	▲5.4	▲8.6	±0.0	▲2.6 (▲2.7)
建設	±0.0	△11.1	▲5.0	±0.0	△10.5	△5.8	▲11.7 (△10.5)
製造	▲11.1	▲11.1	▲10.5	▲20.0	▲23.5	▲5.2	▲10.5 (▲10.0)
卸・小売	▲9.5	▲15.0	▲13.6	▲10.0	▲21.7	▲10.0	▲5.0 (±0.0)
サービス	△17.3	△10.0	△4.5	△10.0	±0.0	△10.5	△15.7 (▲4.5)

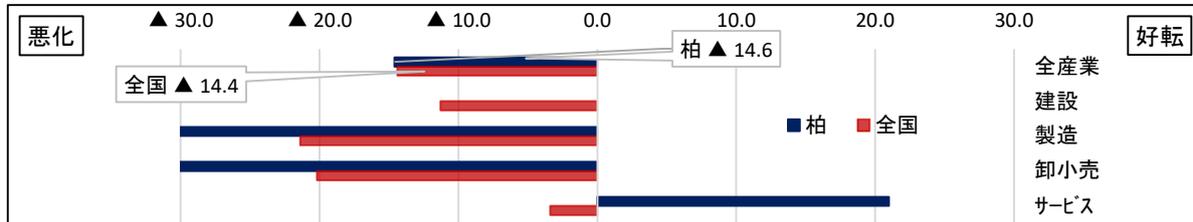


# 全国（CCI-LOBO）との比較

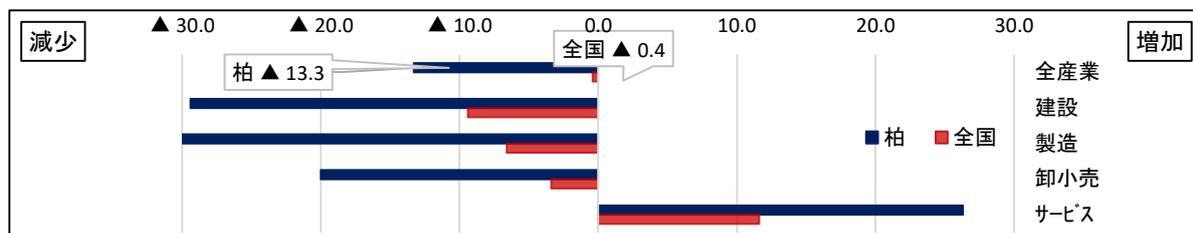
## 【CCI-LOBOとは】

日本商工会議所が各地商工会議所のネットワークを活用し、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景況感」や「直面する経営課題」を全国ベースで毎月調査し、その結果を集計・公表するものです

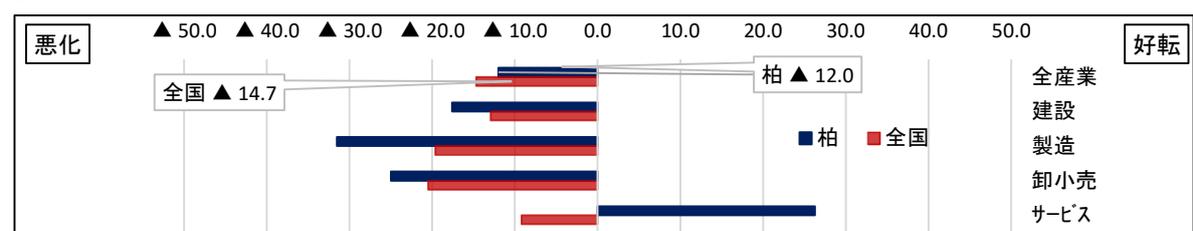
## 【業況D I】



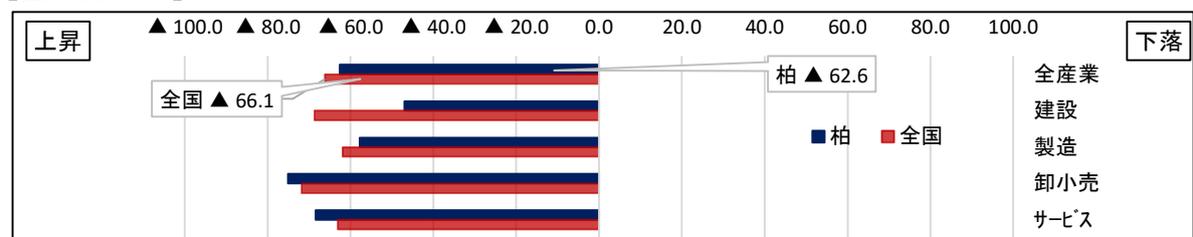
## 【売上D I】



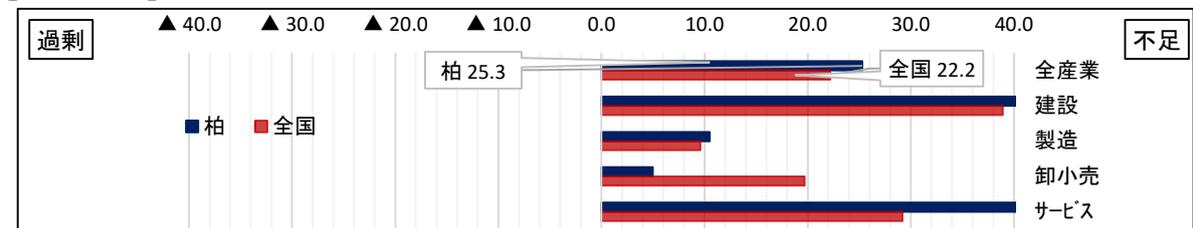
## 【採算D I】



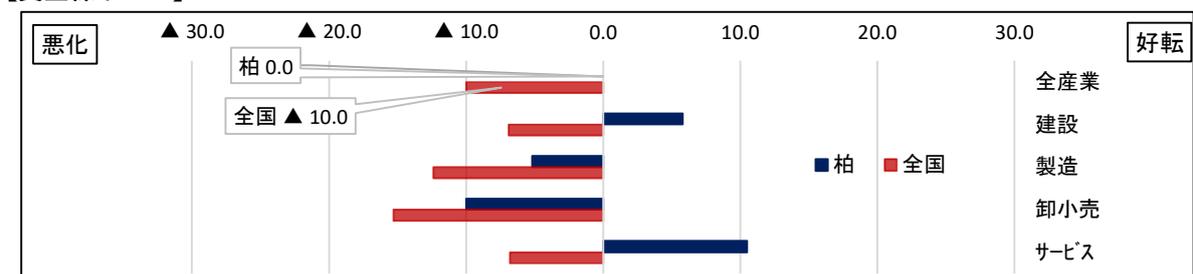
## 【仕入単価D I】



## 【従業員D I】



## 【資金繰りD I】



## 【業種別】業界内トピックス

業種別	概 況	業種
建設業	毎年暮れには 従業員に 餅代として寸志を渡すが 借り入れをして支払うような形になり資金繰りはますますマイナスになっている 又 日の暮れるのが早いために現場で仕事をする時間が大幅に減っているために、 仕事がかどらず、利益を生むところまでいかないのが現実	とび
	12月は一般の豊工事受注が多くありがたかったです！	豊工事請負・豊製造販売業
	明るいニュースがTV等から多く流れる世の中を期待しています	一般土木建築工事業
	<p>昨年の総裁選挙以降、岸田政権時代よりもより不穏な空気が流れているように感じます。これまで歴代の総理大臣を批判してきた石破総理は訳の分からない政策を打ち、安倍政権で築き上げてきた礎をもの見事に岸田、石破の連携でガタガタにしてくれている。日本の危機(中国の戦略的領土略奪)が迫っていることは判っているのに日本のTOPが売国している状況で国民は不安しかない。一刻も早く外国人への日本国土(不動産)の売買は中止し、これまで所有されてしまったものは没収または安値で買い取る、莫大な固定資産税を払わせるなど日本を守る行動をしないと台湾のように狙われてしまう。既に日本を2050年までに吸収する計画は出ているなどと話を聞いたことがある。</p> <p>いつ第二のウクライナになるかわからない現状を国籍を変えていない本物の日本人の政治家がしっかり守らなければこの国は終わる。</p> <p>地域社会では中国人は高値で買ってくれるから。自分が売ったくらいじゃたいしたことない。などと考えているからここまで被害が広がってきていることを国民一人ひとりが対中国を意識して商売する必要がある。</p> <p>また政権交代して痛い目を食らわないと日本人は目を覚ますことはないと感じます。そろそろ財務省、厚労省は株でたっぷり余剰金を稼いでストックしているのでバブル崩壊のような金融機関への何かしらのアプローチを仕掛けた時に一気に情勢が変わると思います。</p> <p>株価を一回下げないと、また株で儲けることができないからそろそろ仕掛けてくるんじゃないかなと感じます。あくまでも私見です！</p>	塗装工事業
	仕入単価は上昇が止まらない状態。少しずつ上がっている模様。 一方顧客の設備投資意欲は昨年度より縮小していると見ています。	空調(エアコン)設備工事
製造業	医療品容器化粧品容器共に決めてに欠けて一進一退を繰り返している。現在大きな案件を抱えているが、それらが生産ベースに乗れば売り上げ上昇機運となるが・・・。	プラスチック加工
	年明けから年度末に向けての駆け込み需要が期待できるが、支払サイトを120日から60日に変更したことによる借り入れが増えてきている	その他の機械・同部品製造業
	人材確保のために、来年度から有給休暇日数を増やしたり、育休や介護休暇制度など、総労働時間が大きく減少する一方で、原材料費やエネルギー価格の上昇など、コストアップ要因が多い中で、賃金のアップをしていかなければならないのは、大変厳しい状況にある。	自動車・同附属品製造業
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新製品の販売により売上数量は増加。</li> <li>・退職等に伴う欠員については随時補充採用ができています。</li> </ul>	酒類製造業
	年末年始は操業日が低く、ユーザーも大型連休に入り生産及び収益は下振れたただ、懸念している状況よりは、状況が上向きになっている。 デジタル化の推進しで年末調整事務等の簡素化実施	その他の鉄鋼業

## 【業種別】業界内トピックス

	世代交代を見据えた採用活動に着手した。目先の欠員補充ではなく5年後に新しいステージに立てるよう採用ツールも複数使っている。結果が出ることを期待している。	金属製品
卸・小売業	8月～10月は厳しい月度で大きく落ち込みましたが、11月12月は連続して好調です。 しかし、8月～10月のマイナスを全て返せるレベルには至っていないので、年間ベースでは厳しい状況です。 業績が好転するにつけて人手不足がでました。	大型小売店
	クリスマスに向けて凡ゆる面で厳しい状況ですが何とか乗り切りたいと思う。	洋菓子店
	*年末なので売上はやや好調。今後、価格に影響のない仕入れ値がいつまで続くか。	その他の各種商品小売業
	食品に限らず原料の高騰がここまで続くと販売価格への転嫁だけではこの先の営業活動を継続していくのが難しいと感じた1年だった。リサーチや商品開発といった分野に力を入れたいところだが中小企業のもつリソースだけでは足らず、他力本願にはなってしまうが国、自治体からの補助金をはじめとしたサポートに期待してしまう。お金のかからない部分でできる努力はあるので現在の手持ちの商品やサービスが行き届いていないところにアプローチすることももう一度必要かと思う。総合食品はもちろん特定の食品(うちであれば海苔)はもはや市内での顧客だけで利益をあげることは卸売ではかなり難易度が高い。一方で一般ユーザー向けに注目するとまだ可能性がある。これは県単位、全国、輸出についても同様でEC販売へマルシェなど感度の高いユーザーへアプローチする手法が今は沢山あるので試していきたい。	食料卸売業
	・月間を通じ好天が多く、人流・入店は堅調に推移。・セール分散傾向も有り、全体としてはやや低調もカジュアル衣料は前年を堅持。・食物販は値上げ影響で点数減も単価上昇で前年同レベルの売上を確保。クリスマス需要は昨年の1.4倍と大きく伸長。	百貨店
サービス業	昨今の地価高騰で、収益物件の購入は手じまいとしました。	不動産賃貸・管理業
	金利が上がっている為、購入客が減少しています。人件費、商材の値上がりで建築費、仕入れ価格が上昇しています。購入客の動きも悪いです。全体的にインフレがジワと来ているようです。	不動産管理業
	良くも悪くも天候次第。寒さが緩めば今冬の売上は昨対を上回る見通し。但し、売上が上がっても仕入や光熱費などの経費が上がり続けており採算は悪化の見通し。シニア層のお客様が昨年の夏から減少してきていることが気がかり。	ゴルフ練習場
	年末年始にかけては海外旅行の動きが活発ですが、かつての状態には戻ってない。 このところの国内の宿泊料金(ホテル・旅館とも)が値上がりしている、動きにブレーキがかからなければよいが、懸念している。	旅行
	業況としては、インフラの整備や維持管理関連での堅調な動きが続くと予想していますが、物価上昇傾向に伴う材料費、燃料費等によるコスト高への不安も出てきています。 また、小規模企業者にとってはインボイス制度の影響も真剣に取り組む必要があると感じています。	地質調査・地質コンサルタント

# 調査要領

回答期間

令和6年12月20日 ~ 令和7年1月7日

調査対象

柏市内173事業所及び組合にヒアリング

<業種別回収状況>

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	173	75	43.4%
建設	38	17	44.7%
製造	44	19	43.2%
卸・小売	46	20	43.5%
サービス	45	19	42.2%

調査方法と調査票

下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通し		
	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
a.売上高（出荷高）	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 （経常利益ベース）	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

質問B 業界内のトピック（記述式）

## ※DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

## ※DI値と景気の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振
				